



## 連携団体

黒部市、入善町、朝日町

## (1)取組の背景、経緯

連携4団体では、昭和46年に一部事務組合を設置しごみ処理・斎場、夜間救急医療センター等を共同運営してきた。今後人口が減少する中、中長期的に持続的かつ効率的な行政サービスの提供を図る必要があり、更なる広域連携の可能性について検討するため本事業に取り組むこととなった。

## (2)取組の内容

- 公共施設に関する基礎調査の実施  
将来人口の減少、児童・生徒数の減少、公共施設の利用状況、公共施設維持管理費など客観的データを収集・分析。今後の広域連携の可能性について検討を行った。(対象施設:体育施設、文化施設、CATV事業、学校給食センター等)
- 情報分野の専門人材の広域的確保・相互利用の可能性調査の実施  
連携団体の情報担当部署にアンケートを実施。専門人材の広域的確保について検討を行った。
- 自治体職員向け合同勉強会の開催  
広域連携の現状と必要性、他県の定住自立圏の取組等について勉強会を行った。
- 担当課長級会議、首長会議の開催

## (3)取組の特徴・ポイント

- 公共施設の利用実態の把握  
公共施設利用者アンケートを行った結果、住民が自治体の枠を超えて広域的に公共施設を利用している実態等を一定程度把握することができた。
- 自治体職員向け合同勉強会の開催  
自治体職員や市議会・町議会議員が勉強会に参加し、長期的な行政課題についての共通理解を深めるとともに、広域連携に取り組んでいく必要性について意識醸成が図られた。

## (4)今後の展開

- ・公共施設については、広域利用の更なる促進や利用者の利便性の向上、残耐用年数を考慮した施設集約化の検討などを進めていく。
- ・情報分野の専門人材については、必要性が高いものの、財政的な面を含めて課題があり、専門人材を有する県との連携や、より広域の県内市町村との連携について検討を進めていく。